

健康医療戦略参与会議 意見

2021年6月9日

(株)日本総合研究所

翁百合

コロナ禍により健康や医療の在り方にかつてないほど国民の関心が高まっている。
これを良い機会として医療ヘルスケアに関する多くの課題の改善、改革を実現すべき。

1. 医療提供体制の抜本的な見直しを進め、データを活用した価値に基づく医療を実装して研究開発の促進につなげるべき

ー今回のコロナ禍で顕在化した多くの課題を関係者がレビューし、国民に寄り添う日本版プライマリ・ケアの仕組みを整備、これを基盤とした病院と診療所の機能分担と連携、病院間連携を強める。その際、デジタル化、データ連携を一層進める。

ーこれにより、医療従事者の過度な負担を軽減し、多くのデータに基づいた医療の評価の仕組みを実装することも可能になる。こうした取り組みによって、患者にとって価値の高い医療が提供される環境整備を進めることにより、検査体制の整備充実、質の高い治療薬の研究、効果のある医療機器の開発などにつなげる。同時に、医療全体の資源配分の是正にもつなげる。

2. ワクチン開発を含む医療ヘルスケア産業、新産業育成の本格強化

ー経済安全保障という観点からワクチン開発への国の支援を継続的に実現し、必要な環境整備を実現すべき。健康医療への投資は国の最重要戦略の一つとして位置づけ、内外に発信するとともに、企業の投資意欲の喚起に尽力すべき。薬価や診療報酬についても、世界で最高水準の医療が日本で開発提供されるための在り方を追求する必要。

国民・社会の関心が高い今こそ

国民目線での医療のあるべき姿の検討に向けた「考え方の転換」が必要

コロナ禍だからこそ
見直すべき
「かかりつけ医」の役割

提言①

国民の一生涯の健康を
地域多職種連携でみる
プライマリ・ケアチーム体制整備

プライマリ・ケアチーム体制整備

デジタル/データ利活用

病院-診療所間の機能分担

デジタル化が可能にする
質の高い医療の
選択を加速化

提言②

健康増進と医療革新を
促進するために
価値に基づく医療を実装

価値に基づく医療の実装

医療の質の継続改善

国民皆保険を将来世代に
引き継ぐために、コロナ禍の今こそ
考えるべき医療財政

提言③

情報提供を進め
国民的理解を得て
必要な医療財源を確保

国民的理解の獲得

給付に見合った負担確保

※当該提言資料は以下に掲載

<https://www.jri.co.jp/column/opinion/detail/12629/>

- わが国の医療制度は、健康寿命の延伸に多大なる貢献をしている一方、少子高齢化、増え続ける財政負担などの諸課題に対する改革の必要性が訴えられてきたところである。
- そして、昨年から発生した新型コロナウイルス感染症による公衆衛生危機によって、わが国の医療提供体制はさらに多くの課題を突き付けられることになった。
- しかしながら、これまでの日本の医療制度改革に関する議論は専門的な内容に偏り、**国民目線で分かりやすい議論には欠けていた。**
- わが国の医療政策改革の議論において、あるべき医療の姿を描き、国民のメリットを明確にし、これらを実現するために必要な財源や負担のあり方の説明を尽くし、**関係者一丸となって取り組むための戦略的アプローチの導入**が必要である。

提言①

国民の一生涯の健康を 地域多職種連携で診る プライマリ・ケアチーム体制整備

- 将来の公衆衛生危機や今後の少子高齢化対応、健康不安時の対応、生活習慣病の重病化対応、病院・診療所間連携、在宅支援におけるかかりつけ医の役割を改めて見直す。
- そのために、臓器ごとの専門医だけでなく、全人的・包括的に複数科／疾病の患者も診られ、患者の地域や家族の状況も踏まえて診察できる**プライマリ・ケアチームが必要**である。
- これにより、国民一人ひとりが、自らが選んだ一生涯のかかりつけの多職種医療従事者チームに診てもらえる「**国民の一生涯を見る日本版プライマリ・ケア**」の仕組みを整備すべき。

提言②

健康増進と医療革新を 促進するために 価値に基づく医療を実装

- 主に医療サービスの投入量に着目してた支払い制度であり、**医療サービスの増大や非効率を招きやすい**。
- **医療のデジタル化**によって、既存医療や新たな医療の**価値を評価し、価値の高い医療がより選択され、価値が高いとはいえない医療の提供が少なくなる**仕組みを構築すべき。
- これにより、国民は**正確なデータを活用した質の高い医療**を受けられる。

今後の医療政策の検討に向けて

- 「国民に正しく情報を提供すれば、国民の選択は変わる」ことを念頭に置き、国民目線の検討をさらに進める「**考え方の転換**」が政策検討において**必要**である。
特に、コロナ禍で医療提供体制の課題を国民が目当たりしている今だからこそ、この考え方の転換は非常に重要である。
- わが国の各界のリーダーの強力なリーダーシップの下、医療のあるべき姿と戦略を策定することを政府の目標として定め、**国民・患者・医療提供者・アカデミア・産業界・政府などの関係者と早期から連携した対話を推進**することが必要である。

提言③

情報提供を進め 国民的理解を得て 必要な医療財源を確保

- **医療のあるべき姿、提供体制をまずは国民目線で検討し、それを実現するにあたっての必要な給付を考え、その給付に必要な財源を考える必要がある**。
- 日本総合研究所の実施した国民アンケート結果では、**国民はより理解できるための説明や情報提供を求めている**ことが分かった。現在世代の誰かが得をする議論ではなく、**国民皆保険がもたらす便益を将来世代に確実に引き継ぐための責任ある議論が必要**である。